

科目名 Course Name	メディカルアロマセラピー Medical Aromatherapy				ナンバリング No.	D1-008	
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	小竹仁美						
連絡先(質問等)	本館2階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは担当教員より説明する。						
必修/選択	選択(医療事務フィールドの学生のみ履修可。他フィールドの学生は履修不可。)						
関連 DP	DP2 DP3						
授業の概要と 到達目標	<p>天然の植物から採れる精油を使って行うアロマセラピーは、リラクゼーション分野以外に、代替・補完医療としても認知されるようになってきている。この授業では香りを楽しみつつ、香りが心と体に与える影響について知識を習得し、生活の取り入れる方法や心身の健康に役立てる方法を実習する。</p> <p>① 精油の安全な使い方や各精油の特徴について説明できるようにする。 ② アロマセラピーの基本的な使い方を説明できるようにする。 ③ クラフトを通してメンタルヘルスケア、ストレスケア等にアロマセラピーを活用できるようにする。</p>						
授業の方法	講義と実習。						
学習成果	L01	精油の安全な使い方やアロマセラピー、利用分野について説明できる。					
	L02						
	L03	心身の健康や日常生活にアロマセラピーを役立てることができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	小テストや試験は試験後に模範解答を示し、試験結果は授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	教科書:アロマセラピー検定公式テキスト1級・2級(日本アロマ環境協会)。※必ず購入し、第一回目の授業から持参すること。						
履修上の留意点 やルール等	●実習のための材料費は自己負担である(5,000 円程度)。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、授業に積極的に参加していることである。10%の配点である。	5		5	
レポート/作品	S 評価は、授業で学んだ内容に基づいており、期日までに提出していることである。20%の配点である。	10		10	
発表					
小テスト	正誤問題で知識の確認をする。S 評価は、得点率 9 割以上。30%の配点である。	20		10	
試験	正誤問題および説明問題を実施する。S 評価は、得点率 9 割以上。40%の配点である。	20		20	
その他					
合 計		55		45	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、アロマテラピーについて、香りのイメージ体験
	事前・事後学習	アロマテラピーの定義を暗記する。
2	授業内容	精油が作用するメカニズム、精油の基礎知識、精油の製造法
	事前・事後学習	教科書の学習範囲を読む。
3	授業内容	精油の作用、精油の正しい選び方、芳香浴の仕方、小テスト①の説明
	事前・事後学習	教科書の学習範囲を読む。
4	授業内容	精油の説明 1、アロマバスの楽しみ方、小テスト①実施
	事前・事後学習	精油の科名のワークシートを作成する。
5	授業内容	精油の説明 2、精油の安全な使い方、小テスト②の説明
	事前・事後学習	教科書の学習範囲を読む。
6	授業内容	精油の説明 3、バスソルト作り、小テスト②実施
	事前・事後学習	精油の製造法のワークシートを作成する。
7	授業内容	基材の説明、ルームスプレー作り
	事前・事後学習	精油の抽出部位のワークシートを作成する。
8	授業内容	心身の健康とアロマテラピー(身体編)、軟膏作り
	事前・事後学習	精油の成分のワークシートを作成する。
9	授業内容	心身の健康とアロマテラピー(心理編)、バスボム作り、小テスト③の説明
	事前・事後学習	教科書の学習範囲を読む。
10	授業内容	精油のブレンドの知識、小テスト③実施
	事前・事後学習	精油のブレンドの課題レポートを作成する。
11	授業内容	アロマキャンドル作り 1
	事前・事後学習	キャンドル用ワックスの使い方をまとめる。
12	授業内容	アロマキャンドル作り 2
	事前・事後学習	キャンドルの色合いを考える。
13	授業内容	アロマキャンドル作り 3
	事前・事後学習	アロマキャンドル制作の課題を作成する。
14	授業内容	アロマテラピーに関する法律、定期試験の説明
	事前・事後学習	教科書全般を復習する。
15	授業内容	アロマと空間
	事前・事後学習	教科書全般を復習する。